

優秀ポスター賞受賞者インタビュー 06



光富 修平

薬学系研究科
博士課程3年

◆研究内容について教えていただけますか？

癌は日本人の死因の第一位を占めています。長年の研究により、癌患者の生存率は上昇しています。しかしながら、膵臓に発生する癌である膵癌に罹った場合の生存率は未だに低く、5年生存率は未だに10%以下です。私は、最難治癌である膵癌を対象として、新たな創薬標的の探索とその機能解析をおこなっています。

今回の発表では、(1)膵癌で高発現し予後に影響する因子の発見、および(2)この酵素が形成する特徴的な細胞内構造の形成メカニズムについて発表しました。将来的には、この酵素の阻害剤を開発し、膵癌治療につなげたいと思っています。

◆この研究分野に興味をもたれたきっかけなどありましたら教えてください。

最難治癌である膵癌の治療につなげたいと思い、この研究を始めました。

◆今回発表した内容はどれくらいの期間で行ったものですか？

今回発表した内容は1年半ほどで行ったものです。

◆研究を進めるにあたって、特に苦労した点を教えてください。

膵癌の実験系がラボであまり確立されていなかったため、色々な実験系を立ち上げるところに苦労しました。

◆ポスター作成、発表において工夫した点などありましたら教えてください。

ポスター作成時は、専門が違う方にもわかりやすいスライドになるように心がけました。具体的には、結論が一目でわかるようにし、図が小さくならないように気をつけました。また、研究の概要がわかりやすいように、graphical abstractのスライドを配置しました。

発表においては、オーディエンスの反応に合わせて話す内容を調節するように心がけました。

◆研究を進めるにあたって気をつけていることを教えてください。

自分の研究の何が新しく、なぜその研究が重要なかを意識するように気をつけています。

◆今回ポスター発表をして、良かった点、改善してほしい点があれば教えてください。

普段あまり話す機会がないような異分野の方々と交流できたのがよかったです。

◆これから発表される方にアドバイスがあればよろしくお願ひします。

異分野の方にも理解してもらえるように、わかりやすさを意識することが重要だと思います。

◆将来の夢(目標)を教えてください。

楽しく研究を続ける過程で、創薬など役に立つ研究ができればいいなと思っています。